

事業所名

クリア（単位①）

支援プログラム

作成日：令和6年11月1日

| | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----------|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のライフステージに合わせ、必要としている支援を、必要なタイミングで提供する。また、幼いころから関わることにより、信頼関係構築の上支援し、利用者本人の希望を地域に発信し、叶えるお手伝いをする。当社の役割は、障害児者の人生をより豊かなものにするため、寄り添いプロデュースすることにある。 ・子どもたちに様々な「体験」を「経験」として積み重ねることで、人生を生き抜く力を育み、未来の可能性を広げられるように支援する。 | | | |
| 支援方針 | | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム(公文式/ダンスビクス/英語・PC教室/体幹トレーニング)を通して、一人ひとりに合わせた課題設定を行なっています。年齢や発達に沿った課題に取り組むことで、得意分野を伸ばし、苦手分野を補っていけるよう支援をしています。 ・利用者の年齢層も幅広く、各プログラムや特別活動において、多彩なコミュニケーションが生まれ、異年齢、異性、異障害特性など、相互理解を深めます。 ・各プログラム、特別活動の実施背景や目的に応じ、個別活動、集団活動を組み合わせています。 | | | |
| 営業時間 | | 10時00分から | 19時00分まで | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・公文式/英語・PC教室：決まった時刻に学習し、生活リズムや生活習慣の形成を図ります。また、場面の転換や気持ちの切り替えに必要な支援や訓練を行います。 ・その他：手洗い・更衣・食事など、日常生活における生活動作の習得を支援します。希望者には、医師の指示の基、本人の能力に合わせた服薬管理を行ないます。適齢期の女性利用者には、月経時の身体的、精神的健康管理及び必要な知識や動作を習得できるよう女性職員が支援します。 | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・公文式/英語・PC教室：個別に合わせた一定時間の着座し、正しい姿勢で課題に取り組み、体幹の形成を図ります。また、目と手指の協応を促し、指先の巧緻性の向上を図ります。 ・ダンスビクス/体幹トレーニング：日常生活に必要となる筋力の維持・向上を図ります。 | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・公文式/英語・PC教室：数感覚、計算能力、記憶力、ワーキングメモリへアプローチします。また、誤った解答をした際には、ミスを受け入れ、修正し、適切な解答や行動する力を養います。時間を計って取り組み、記録することにより、時間への意識を高め、自己管理能力を養います。 ・ダンスビクス：集団で取り組む他児との距離を知り、人との距離感や空間認知能力の形成を図ります。 ・その他：対象者には作業療法士が認知行動療法を実施します。 | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・公文式：物の名前や単語に触れる機会を増やします。声に出して読むだけでなく、物の絵と音・平仮名・数字の関連性を伝え、語彙力、読解力、音読力の向上を図ります。また、職員とのやりとりの中で、指示の理解、自分から質問ができるよう促します。自分の気持ちを表現できない場面では、職員が気持ちを聞き取りながら、言葉で相手へ伝える練習を行なっています。 ・英語・PC教室：コミュニケーション手段として、発話や筆記だけでなく、パソコンや様々なデバイスを通して適切なコミュニケーションをとったり、発信することができるよう、スキルやマナーを習得します。ローマ字入力ができるよう、アルファベット、ローマ字、英語の学習も並行して行ないます。 ・その他：対象者には作業療法士が構音訓練を行います。 | | | |
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・公文式：プログラム開始、終了時には挨拶を行ないます。礼儀作法や依頼、お礼の習慣を身につけます。また、手順やルールを理解し、守ることができるよう支援します。個別課題を仲間（他児、職員）と共に取り組む環境を設定しています。 ・その他：職員や利用者の中で関わりやすい人を見つけ、お友だちとの交流を増やしていけるよう支援します。少人数のやりとりから気持ちを伝えること、相手の意見に耳を傾けることを学び、大人数での活動の場で他の人とやり取りができるよう職員が介入しながら支援して行きます。また、ルールや勝負のある遊びや特別活動を通し、順番を守ることや相手に譲ること、相手の立場や置かれている状況を理解し、適応する力を養います。 | | | |
| 家族支援 | | 日常生活の中で、本人が過ごしやすい環境をつくっていけるよう共有し、適時環境調整や相談援助を行なっています。 | 移行支援 | | 特別活動時には、地域の学童や事業者と連携し、共に活動する機会をつくっています。また、近隣の障害福祉事業所と交流する機会もつくっています。 |
| 地域支援・地域連携 | | 各関係機関で役割分担を行うとともに、各機関で得られた情報を共有し、日常生活や支援に必要な具体策を提案し、連携を深めています。また、海部南部障害者自立支援協議会に参加し、地域課題への理解を深め、課題解決へ積極的に取り組んでいます。 | 職員の質の向上 | | 理学療法士や作業療法士による社内研修を行なっています。また、外部講師を招いたり、外部研修への参加も行なっています。 |
| 主な行事等 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月固定：書道教室/映画鑑賞 ・祝日、学校長期休暇：ミニ四駆大会/水中運動会/夏祭り/クリスマス会/餅つき大会/マス釣り体験 | | | |